

みえ高校生県議会概要

みえ高校生県議会とは
三重県議会が工夫した取組

みえ高校生県議会とは

- ▶ 高校生に議会活動を体験してもらう取組
(2年に1回開催)

- ▶ 平成26年度から行い、今年度が5回目
(令和6年度：11校34名が参加)

→回数を重ねるごとに参加経験のある
教員から生徒へ紹介してもらえようにな
り、多くの生徒が自主的に手挙げ参加

- ▶ 県内の高等学校・高等専門学校が対象

→南北に長い三重県の全域から参加
各地域特有の課題を学びあう場に



議会改革の取組としての位置付け

▶ みえ高校生県議会

三重県議会の基本方針のうち、
「開かれた議会運営の実現」に係る最重要の取組の一つ

議会活動計画（第3期）

- ・主権者教育につながる取り組みであることをPRする
- ・高校生の議会に対する関心を高めるための、より効果的な手法について検討

- ▶ 若者に議会・議員への関心を持ってもらうことで、
議会や議員を身近な存在に

⇒ **多様な人材の議会での活躍にも寄与**

みえ高校生県議会の流れ（募集～質問完成）



みえ高校生県議会の流れ（開催当日）



みえ高校生県議会の流れ (議会への反映～フィードバック)

NEW

9月 10月

議会（委員会）での議論

1月 2月

議会と高校生が相互にフィードバック

生徒たちの思いを
議会として受け止め
実現するための
新たな取組



三重県議会が工夫した取組

- 1 議員と高校生が交流する機会の積極的な創出
- 2 高校生に主権者としての意識を持ってもらうためのアプローチ **NEW**
- 3 参加校以外の高校生にも主権者としての意識を広げる **NEW**

議員と高校生が交流する機会の積極的な創出

▶ できるだけ議員と高校生が直接会う・話す機会を作る

- ① 事前説明会
- ② 事前相談会
- ③ フィードバック

学校ごとに実施
本番以外に延べ28回
議員と高校生が交流



昼食や議事堂見学など



ざっくばらん

に話せる機会も作る

◎事前説明会では

高校生に対して「議会の役割や議会の仕組み」
を議員がレクチャー

- ▶ 議員と接するのは初めてという高校生がほとんど
⇒議員と話すハードルを下げるための
「顔合わせ」の意味合いを重視
- ▶ 質疑応答では「気さくに」・「何でも聞いてみて」
(例) 議員になった経緯 など



◎事前説明会では

【効果】

高校生の「議員と話すハードル」を
下げることができた

- ▶ 話しやすい雰囲気だった (生徒アンケートより)
- ▶ 議員の方々が親身になって話してくれた
(生徒アンケートより)
- ▶ 親しみやすい感じでアドバイスをもらい、
生徒たちのモチベーションも上がった
(教員アンケートより)



◎ 高校生の反応

高校生の意識変化



議員が身近な存在に！



- ▶ 普段、街頭演説をしている際やポスター等でしか見かけない
県議会議員が身近に感じられた（生徒アンケートより）

- ▶ とても話しやすいので意見も言いやすかったのがよかった
議員との話し合いの機会を増やしてほしい（生徒アンケートより）

高校生の行動変化

- ▶ いつも駅前で街頭演説をしている人が県議会議員だと気づいた
- ▶ **駅前に立っている県議会議員から県政報告のチラシをもらってみた**

高校生に主権者としての意識を持って もらうためのアプローチ

- ▶ 高校生が自ら県政について考え、課題意識を持って
質問や提案を行ってもらえるよう、高校ごとに議員が
直接アドバイスできる場として「事前相談会」を設定



議員のアドバイス



◎ 事前相談会では

高校生が作成した質問の素案や悩みについて、
議員がアドバイス

- ▶ 議員が心構えやテクニックを伝授
(例) 現場の声をアンケートなどで客観的に届けてはどうか
(例) パネルでグラフや写真を使うと訴求力がUP

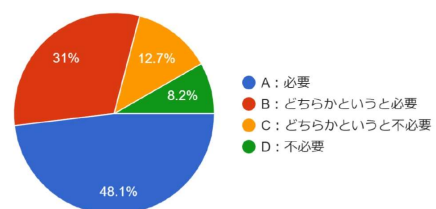


◎ 事前相談会では

【効果】

高校生の**主体的な行動に繋がり、
質問がブラッシュアップされた**

① クロームブック等の「1人1台端末」は必要と思うかどうか (158件の回答)



実際に使用された映写パネル

- ▶ 校内でアンケートを取り、質問にアンケート結果のデータを盛り込み、グラフを映写パネル化して使用
- ▶ 他県の事例と三重県の現状を比較して問う内容に修正

高校生に主権者としての意識を持って もらうためのアプローチ

NEW

- ▶ これまで高校生の意見を受けてからの対応は議員個人に委ねられていたが、**所管の常任委員会の委員間討議で議論する仕組みを導入**

- 委員間討議を踏まえ高校生の意見の取り扱いを協議
→ 委員長報告、意見書や決議、執行部への申し入れ、
高校生が自ら県政に働きかけるための助言 などを想定

- ▶ 議会と高校生が実施後の取組状況を**相互にフィードバックする仕組みを導入**

(9月定例会議)



委員間討議



参考人招致



委員長報告

◎フィードバックでは NEW

議会と高校生が実施後の取組状況を相互にフィードバック

- ▶ 【議会から】
9月定例会議の行政部門別常任委員会での議論の結果を
議員が高校生にフィードバック

- ▶ 【高校生から】

- ・ 名張高校：端末へのアプリ導入を**学校へ要望し、導入実現**
- ・ 伊勢高校：森林教育に関する**出前講座の実現**
- ・ 相可高校：**県産品の魅力発信事業への連携**
- ・ 津高校：執行部が県公式HP改善に向けて**生徒へ聴取**

議会での議論・要望を経て、
様々な取組に反映



◎フィードバックでは **NEW**

高校生の意識変化



フィードバック後の高校生の感想

- 自分たちの提案が県の事業として形になっていくとは思っていなかった。とても嬉しい。
- 「みえ高校生県議会」の体験を通して、言ってみる・やってみることで変えていくことができるという実感を持った。

◎高校生の反応

高校生の意識変化

- ▶ 私達高校生の質問、提案に真剣になっていただき、うれしく思う
ここを終わりとせず、三重県に住む一員として、よりよい三重県を
創り上げていく為にも、考えを止めず、学び続けたい
(生徒アンケートより)

- ▶ 質問準備の過程で県についての理解が深まったことはもちろんだが、
議員との話、議事堂見学を通して、県政への興味が深まった
(生徒アンケートより)

高校生の行動変化

- ▶ 平日休みの日に県議会の一般質問を傍聴しに行った

自分の声が政治に
届いた実感！



参加校以外の生徒にも主権者としての意識を拡げる

NEW

「みえ高校生県議会」を特集した広報紙
「みえ県議会新聞 令和6年度NO. 1」を
県内の全ての高校生に配付

→学内だけではなく他校の友人からも
「掲載されている姿をみた！」との連絡が参加者に届く

→「みえ高校生県議会」に参加していない高校生にも、
経験が水平展開された



同世代の行動が
刺激に！

